

まほろば秦野通信

令和6年1月23日

タイトル	新たな学びにチャレンジする秦野っ子 NPOと協働したプログラミング学習を実施します
When (いつ)	1月29日(月曜日) 13:25~14:10
Where (どこで)	東小学校 4年2組(31人)
Who (だれが)	しだ たくや 志田 拓也 教諭(担任は4年3組)
What (なにを)	総合学習の時間で「身近な生活用品について」をテーマに、NPO団体ミライキッズが開発し、全国13カ所の自治体で導入が進むデジタル教材 [*] を使った、プログラミング的な思考を育む授業を実施します。 ※アプリの使い方を解説するやワークシートなど
How (どのように)	
Why (なぜ)	本市では、地域や民間企業と協働した教育活動として、新たな学びプロジェクトを推進しています。 このような中、今年度の全国学力・学習状況調査結果から、本市の課題として、根拠を持ち、筋道を立てて自分の考えを説明する論理的思考を育む必要があることがわかりました。 そこで、今回の授業を通じ、身近な生活用品の中にもプログラミングが関係していることを知り、その仕組みについて考えることで論理的思考を育みます。
過去の実績	<ul style="list-style-type: none">・小・中学生の論理的思考を育む取り組みの一環で、昨年度から神奈川新聞とNPO団体ミライキッズとの連携を開始した取り組みを進めています。・昨年度は、堀川小学校をモデル校とし、研究授業などにより秦野のプログラミング教育普及事業を進めています。
今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none">・今年度はミライキッズと協働し、本町小学校でも実践研究を行っています。・今後もさまざまな企業などと連携しながら、デジタル教材の活用も含め、思考力を高めるため各校の新たなチャレンジを支援していきます。
問い合わせ	教育指導課 学習支援担当：徳田 電話：0463(84)2786